一麦出版社の新刊

◉10月13日発売

『田中正造 ――その生と信仰』

石田　健［著］

定価3520［本体3200＋消費税］円

四六判・336頁

ISBN978-4-86325-142-7　C0036

大雨にうたれたたかれ重荷挽く　牛の車の跡かたもなし

正造が死の直前に自らの生涯をうたった短歌

片手に憲法
片手に聖書

田中正造のキリスト教的背景を
研究課題としてきた著者の
渾身の書

田中正造は、谷中の戦いの中で、己れの生をキリスト教の信仰に委ね、現実にしっかり足を据えて神の道＝人の道を歩むのであるが、それは宗教的人間になることではなく、「人間になる」ことであった。彼のまなざしは、この世が進歩と力と未来を夢みる中で、しっかと終末と裁きを見据えていた。彼は、死の直前、〈大雨にうたれたゝかれ重荷挽く　牛の車の跡かたもなし〉と、自分の戦いの生涯を歌に表しているが、しかし今日、彼の戦いの跡は鮮やかに甦り、比類なく現代的意義をもって我々に迫まってくる。死に瀕した田中正造の最後の祈りは、「現在を救い給へ、現在を救い給へ、ありのままを救い給へ」であった。　（「はじめに」より）

〈著者紹介〉

石田　健　ISHIDA Tsuyoshi
1945年　樺太（現サハリン）に生まれる
1990年　農村伝道神学校卒業
1990～2017年　伊達教会、奈良伝道所、美深教会、古河伝道所等の牧師を歴任
2017年　引退